

子どもの力を引き出す声かけとは？

0・1・2歳児への声かけ

子どもとの愛着関係を築き、社会性や言葉を育てていくためにも、赤ちゃんのときからの声かけは大切です。「おもつ替えようね」「おててふこうね」など、何かする

ときには必ず声をかけること、「いいね」「楽しいね」など、子どもの思いを言葉にしていけることがとても大切です。

行動の前に必ずひと言

「〇〇ちゃん、お着替えしようね」など、名前を呼んで、次の行動を知らせる。

子どもの気持ちを言葉に

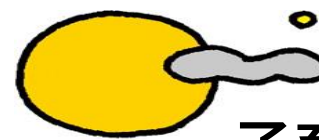
「〇〇でうれしいね」「〇〇で悲しいね」など、子どもの気持ちに共感して、それを言葉に。

ポジティブな声かけを

「ダメ」「危ない」と言われ続けると、自発的な行動ができなくなってしまうことも。「登っちゃダメ」ではなく、「降りてきて」と伝える。

子ども自身が考えられるように

「こうしなさい」ではなく、「どっちがいい？」「これは、どうかな？」と、子どもに考えさせるのも大事。



子育て通信 227号

にこにこ

子育て通信「にこにこ」は、胎内市ホームページからもご覧いただけます

QRコード



R8.8.25

9月号

発行 こども支援課 こども支援係
TEL43-6111（内線1262）



～あかちゃんふれあい教室～

多くの方にご参加いただき、ありがとうございました！！

胎内市子育て支援事業 「親子ふれあい広場」

7月16日(木)10時～11時30分
胎内市総合体育館ふれすぽ胎内アリーナ

アンケートへのご協力もありがとうございました。少しだけ紹介します！

各地域子育て支援センターの先生方が用意してくださった楽しい遊び場や親子でのふれあい遊びで、会場は終始たくさんの笑顔であふれていました！

10月にも楽しいイベント「親子ふれあいコンサート」を企画しておりますので、ぜひ、遊びにいらしてください♪

子どもの成長を感じ取る時間の共有ができて、嬉しかったです。

変わらず、こういうイベントが残り続けてくれたらいいなと願っております！

アンパンマンが大好きなので、会えてとても喜んでいました。広い体育館の中で、思いっきり走り回れて楽しそうでした。



8月7日（金）に赤ちゃんふれあい教室を開催しました。

教室に参加した中学生が赤ちゃんを抱っこさせてもらい、一緒にふれあい遊びをしたり、お母さんから妊娠・出産・子育てについての思いやお子さんの名前の由来などを聞いたり、出産間際の妊婦さんからお話を伺ったり、お腹を触らせてもらうなど、とても貴重な時間を過ごしました。

参加した中学生からは「赤ちゃんが生まれてくるのは奇跡だし、お母さんやお父さんは赤ちゃんのことをとても大事に思っていることを改めて感じた」「赤ちゃんを見ているお母さんの目が温かくて、とても幸せな気持ちになった」などの声が聞かれました。また、赤ちゃんのママからは「普段、お姉さんとふれあう機会がないので、子どもにとっても良い経験になりました」「自分が中学生の時に参加し、母になってまた参加することができてとても良かった」などの声が聞かれました。